ボーリング柱状図

調　査　名　一般県道　乙瀬小方線　交通安全施設整備事業に伴う調査設計業務委託（道路詳細設計）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	BorNo.4	調査位置	大竹市御園2丁目地内　（No.10+0.8　R-6.0m）			北緯	34° 13’ 56.5540″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成 30年 2月 20日 ～ 30年 2月 24日	東経	132° 12’ 54.4850″
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	13.29m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 35°	使用機種	試錐機	東邦地下工機製D-0型	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマー製NF110C型	ポンプ	東邦地下工機製BG3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	12.74	0.55	0.55		礫粘土混じり砂	暗茶灰			0.1mまで、木草根混入する。 砂は細～中粒砂を主体とする。 φ=5～40mmの角礫を混入する。
1									
2	10.39	2.35	2.90		礫混じり砂	暗褐	緩い		砂はマサ状の中～粗粒砂を主体とする。 φ=5～50mmの亜角礫、角礫を混入する。礫分は花崗岩の風化礫を混入する。
3	9.44	0.95	3.85		礫粘土混じり砂	暗茶灰	緩い		砂は細～中粒砂を主体とする。 φ=5～30mmの亜角礫、角礫を混入する。 礫は泥質岩が主体。 深度3.6m付近、マサ状の砂質土を挟む。
4									
5	8.12	1.32	5.17		礫混じり砂	褐灰	中ぐらい		砂はマサ状の中～粗粒砂を主体とする。 φ=5～50mmの亜角礫を混入する。 礫は花崗岩の風化礫が主体。
6									
7	5.29	2.83	8.00		強風化泥質岩	暗灰～乳灰			泥質岩の強風化岩。 深度6.1～7.1m間、チャートが出現。 コアは礫状～岩片～短柱状を示す。 岩片は硬質でハンマの軽打にて崩れないものがある。 亀裂面は原岩色を示す。 岩級区分はD級と判断した。
8									
9									
10									

孔内水位(m)／測定月日：2/23 1.89

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	4	9／30	9
1.45					
2.15	2	5	2	9／30	9
2.45					
3.15	3	2	2	7／30	7
3.45					
4.15	5	13	8	26／30	26
4.45					
5.00	21	29／7		50／17	88
5.17					
6.00	50／1			50／1	1500
6.01					
7.00	貫入不能			50／0	
7.00					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：2/21、2/22